

Title	補助動詞「テミル」の用法に関する理解の現状：インドネシア語を母語とする日本語学習者を対象に
Author(s)	磯見, 真澄; リスマ, リスムラティ
Citation	阪大日本語教育学研究. 2022, 13, p. 1-18
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87637
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

補助動詞「テミル」の用法に関する理解の現状 —インドネシア語を母語とする日本語学習者を対象に—

磯見真澄、リスマ・リスムラティ (50 音順)

1. はじめに

本論文では、補助動詞「V テミル」に注目し、「V テミル」のいくつかの用法をインドネシア語母語の日本語学習者がいかに理解しているか調査し、どのように学習を進めていくべきかを検証する。

2. 研究目的

- 1) 「V テミル」に関して、どのような意味があるのかを明らかにする。
- 2) インドネシア語の「V テミル」に相当する語について、学習者用のテキストではどのように扱われているのかを明らかにする。
- 3) 日本語のいろいろな意味の「V テミル」をインドネシア語母語話者がどのように訳しているのかを調査し、どのような特徴があるのかを明らかにする。
- 4) その他の言語話者の傾向を知るため、学習者の多い中国母語話者について比較参考のため簡易調査実施と特徴を明らかにする。
- 5) 以上 1)～4) をふまえて、今後どのように日本語学習者に「V テミル」を教授していくべきなのかを考える。

3. 補助動詞「V テミル」の本来の意味

初級文法で扱われている補助動詞「V テミル」は、「試しにやってみる（うまくいくか、良いか悪いか、できるかできないかわからないがそれを知るためにする）」という意味で導入、文法説明、練習が行われている。中級以降では、特に「V テミル」は、特定の意味を持つものを単独で扱うことはあっても、複数の意味があることを明示するような扱い方をしている教科書はほとんど見られない。

例えば、『みんなの日本語初級Ⅱ』において以下のような文が扱われている。

- (1) この靴を履いてみます。
- (2) 先生に聞いてみます。
- (3) 日本語で説明してみます。

(『みんなの日本語初級Ⅱ』第 40 課 p. 122)

- (4) この靴を履きます。
- (5) 先生に聞きます。
- (6) 日本語で説明します。

(著者作例)

ここで、(1) と (4) の違いとして、(1) には、(4) のただ「履く」という行動だけではなく、自分にとってその靴が合うか合わないかを知りたいという目的が感じられる。

(2) でも、先生に聞くことによって何か情報が得られる可能性を感じられるし、(3)からは、これまで説明がうまく理解されなかったが、日本語を使うことで何かが変わるといふニュアンスが伝わってくる。この「V テミル」は、目的達成のために「試す」という意味があることがわかる。そのため、『みんなの日本語初級Ⅱ』では、以下のような文を使って練習させている。

(7) 明日までにできるかどうか、やってみます。

(8) そのレストランがおいしいかどうか、行ってみます。

(『みんなの日本語初級Ⅱ』第40課 p. 124)

しかし、この「V テミル」という補助動詞に、願望・欲求を表す「V たいです」を続け「V てみたいです」という形をとると、「V たいです」とは少しニュアンスが変わることがわかる。

(9) 一度パリに行ってみたいです。

(10) 一度パリに行きたいです。

(10) 「一度パリに行きたい」は、願望にも使用できるが、何か目的があってパリに行く必要があるような感じがし、(9) 「一度パリに行ってみたい」は、パリに行った経験がないことが前提で、願望として「行く」という行動をしたいと感じているとき使われている。

先にも述べたとおり、初級テキストでは試行の意味や未経験のことに対する願望を表す時に使用する「V テミル」を学習する。中級以降で出現する「試す」という意味ではない「V テミル」は文法項目としてはテキストにおいてはほとんど取り扱われていないが、教師が教える際に使用する手引書に以下のようなものが扱われてあった。

(11) あいつに口答えなんてしてみろ、何倍にもなって返ってくるぞ。

(『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 p. 65)

(12) このパソコンが壊れてみる、論文が期限までに出せなくなってしまう。

(『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 p. 399)

この、命令形を伴った「V テミロ」には、「試す」という意味も、命令の意味もなく、「もし～したら」という条件の意味になる。

また、「と・ば・たら」とともに「V テミル」を使うと、以下のようになる。

(13) 今場所は横綱以外が優勝すると思っていたが、終わってみると（みたら・みれば）やはり優勝は横綱だった。

(『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 p. 407-410)

この時の「V テミルと (V テミタラ、V テミレバも同様)」は、前件の予想に反して、終ったとき結果が予想外だった時に使われる。ここにも「試す」という意味はない。

以上のことから、「V テミル」という補助動詞は、「試す」という意味以外の場合もあることがわかる。しかし、中級以降の教科書における文法の扱い方は、単独の文法項目に対して意味や使い方を教える方法が取られているので、初級で学習した「V テミル」は試行の意味であることの認識から離れることが難しく、日本語学習者は日本語母語話者が使用している「V テミル」の意味を誤解していることも多いのではないだろうか。そこで、この「試す」という意味以外の「V テミル」という補助動詞が、日本語の会話ではどのように使用されているかを調査したうえで、インドネシアの学習者が「試す」以外の意味のこの補助動詞をどのように学習し、理解し、使用しているかを見ていこうと思う。

4. 先行研究から明らかなこと

まず、「V テミル」という補助動詞についてこれまでどのように研究されてきたのかを見ていきたい。

金谷 (2018) によると、「V テミル」は単に「試行」を表すだけでなく、指示・依頼・提案における緩衝表現としての役割、控えめな意思表示、空想的な願望表示、婉曲的な断り、会話としての前置き等の様々な談話機能を持つという。テミルの構文化への変遷は、嶋田(2009)によると、元は前項動詞と「見る」が継起的に連続していたのに対し、前項と後項がひとまとまりになるにつれて、前項Vと「見る」との間に時間差がなくなり、そこで焦点シフトが生じ、前項のVに焦点が当たるようになった。それと同時に「V テミル」に「意図的に何かを行い結果を見る」という「試行」の意味が生まれ、それが語用論的強化を経て構文となったと考えられると述べられている。

次に、高橋(2019)による補助動詞「みる」の意味用法をまとめてみると、「V テミル」が出現する節によって分類できる事が述べられている。しかし、ここからは「て形節」と「命令文」に「V テミル」が現れたときは「試行」の意味にならないということは明確だが、そのほかの場合は節の種類によって分類できるというよりは、「V テミル」となる動詞や節自体がが意志的であるか否かによって決まっていると述べられている。

以上の先行研究での分類を参考に、本稿では以下のように「V テミル」という補助動詞を使用した文の分類を考える。

- 1 目的のために「試行」をおこなうという意味の文
- 2 「試行」を行った後、ある結果が出たという文
- 3 「試行」の意味はなく、時間がたって「見た」ら、発見があったという文
- 4 「試行」の意味はなく、前節が後節の発見のきっかけとなったという文
- 5 「試行」の意味はなく、「もし~したら」という意味の文

そして、この 5 分類を日本語学習者がインドネシア語で翻訳するとき、どのように理解し、どのような言葉を使用しているのかを調査することにした。

インドネシア語のこれまでの「V テミル」への認識、「V テミル」として使用されている語の語源、使用法などを踏まえたうえで、今後どのようにこれらを教授していくべきなのかを考えたい。

5. インドネシア語母語の日本語学習者の補助動詞「V テミル」の理解

日本語を学習するインドネシア語母語話者は、「V テミル」の文型について、初級段階で教われ、「テ形」を学んだ後に学習するが、多くの教科書では「何かを試す」という意味で導入されている。従って、インドネシア語母語話者の学習者は、「テミル」の持つ別の用法に関しては、学習する機会もなく、中級レベルに入っていくと、自らの学習経験から「V テミル」の用法を身につける状況になっている。以下は、まずインドネシアで出版されている日本語の教科書を参照にしながら、紹介されている「V テミル」の解説と例文を見ていく。

(1) (『みんなの日本語初級Ⅱ－翻訳・文法解説インドネシア語版』p.92)

- Vてみます
- Pola kalimat ini digunakan untuk menyatakan arti “mencoba melakukan suatu kegiatan”.
【この文型は、「ある物事を試す」という意味を示すために使用される】

例文

① もう一度考えてみます。

【Saya akan coba memikirkannya lagi.】
私 する 試す 考える もう一度

② 宇宙から地球を見てみたいです。

【(Saya) ingin coba melihat bumi dari luar angkasa.】
(私) したい 試す 見る 地球 から 宇宙

③ このズボンをはいてみてもいいですか。

【Bolehkah saya mencoba memakai celana ini?】
してもいい 私 試す はく ズボン この

(2) (『Kiat Sukses Mudah dan Praktis Mencapai N4 【日本語能力検定試験 N4 対策】』p.35)

- ...te mimasu 「～てみます」
- coba ... (melakukan sesuatu) 【試す…何かをする】

例文

① 今、毎日日記を書いています。

【Sekarang saya sedang coba menulis buku harian setiap hari.】
今 私 ～ている 試す 書く 日記 毎日

② さしみを食べてみたいです。

【(Saya) ingin coba makan sashimi.】
私 したい 試す 食べる さしみ

③ いろいろやってみましょう！

【Mari kita coba melakukan macam-macam hal.】
しよう 私たち 試す する いろいろな こと

④ 彼に電話してみましたが、うちにいませんでした。

【(Saya) sudah coba untuk menelpon dia, tapi dia tidak di rumah.】
(私) した 試す ため 電話する 彼 でも 彼 いません うちに

上記の解説では、試行の意味をもつ「V テミル」を紹介する際、インドネシア語に相当する表現は、*mencoba/coba* 動詞が使用される。*mencoba* 動詞は硬い表現として用いられていることに対し、*coba* 動詞は語根動詞であるため、話しことばでよく用いられている（文において接続は、主語—*mencoba/coba*—動詞—目的語となっている）この *mencoba* 動詞は基本的に「何かを試す」という意味しかもたないため、「テミル」のもつ他の用法に関しては、また異なることばや表現で表す。従って、試行の意味しかをもたない *mencoba* 動詞は、インドネシア語母語話者向けのインドネシア語教科書や外国語母語話者向けのインドネシア語教科書にも、詳しく解説されていない。そのため、*mencoba* 動詞は、実際にどのように用いられているか、まず動詞の根本的な意味を探る必要がある。次に、*mencoba* 動詞の意味は、インドネシア語オンライン辞典を参考することにした。
(<https://kbbi.web.id/coba>)

- ① *mengerjakan (berbuat) sesuatu untuk mengetahui keadaannya dan sebagainya;*
【ある物事の状態などを知るためにあることをして試すこと】
例： *Ia mencoba sepeda yang baru dibelinya itu*
彼 試す 自転車 係助詞の 新しい 買ってある あの
【彼は新しく買った自転車を試した】
- ② *mengenakan (baju, sepatu) untuk mengetahui pas tidaknya;*
【自分に合うかどうかを知るためにものを着たり、履ったりすること】
例： *Mencoba baju baru*
試す 服 新しい
【新しい服を試す】
- ③ *berusaha melakukan (berbuat) sesuatu;*
【何かをしようと努力する】
例： *Dua orang tahanan mencoba melarikan diri;*
二人 囚人 試す 逃げる 自分
【二人の囚人が逃げようとしていた】
- ④ *mencicipi (makanan);*
【（食べ物や飲み物などを）味わってみること】
例： *aku disuruh mencoba masakannya*
私 頼まれた 味見する 料理 - 彼が作った
【（彼が作った）料理を味見するように頼まれた】
- ⑤ *menguji sesuatu yang bersifat abstrak seperti kepandaian, kekuatan, loyalitas dan lainnya.*
【賢さ、力、ローヤリティーのような抽象的な物事などを試すこと】
例： *mencoba kekuatan musuh*
試す 力 敵
【敵の力を試す】

上記に述べたようにインドネシア語の *mencoba* 動詞には、5つの意味があり、それぞれ日本語に訳してみると、どれも単に「試す」と「しようとする」の意味しか含まれていないため、日本語の「V テミル」が持ついくつかの用法はインドネシア語の *mencoba* 動詞に全てが適用することができない。従って、一般のインドネシア語教科書には、特別な表現

として扱っていないため、詳しく解説されていない理由が分かってきた。さらに、「テミル」がもつ他の用法に関して、インドネシア出版中上級学習者向けの日本語教科書により詳しく解説されていなかった理由も明らかになった。

5.1. インドネシア語母語の日本語学習者のVテミルの使用意識に関する簡易調査

日本語の文に「V テミル」が出現した時、インドネシア語では、試行の意味を表す「V テミル」に近い表現の動詞 *mencoba* と置き換える場合が多い。試行ではない「Vテミル」に関しては、省略して言葉に合わせたものを挿入することも多い。インドネシア語母語の日本語学習者がどのように「Vテミル」の用法を理解しているかを調べるため、以下の5つの「Vテミル」の例文を学習者に翻訳してもらおうというアンケート調査を行った。調査対象者は、現在日本語を学習中の16名のインドネシア語を母語とする日本語学習者である。日本語能力の内訳は、日本語能力試験 N3 合格者 6名、N2 合格者 6名、N1 合格者 4名である。

翻訳に用いたのは、次の①から⑤までの文である。

- ① 学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた。（「試す」目的実現）
- ② アンケート調査を行ってみると、面白い結果が出た。（「試す」結果前提）
- ③ 夜が明けてみたら、雪が積もっていた。（新発見）
- ④ 病気になってみて、健康の大切さがわかった。（きっかけ）
- ⑤ この本をなくしてみろ！彼に相当怒られるよ！（条件）

5.2. 調査結果

以下は、調査対象者が翻訳した①～⑤の文のインドネシア語をまとめたものである。各文16名のうち、同様の翻訳が多いものから順に番号を付け並べた。調査対象者が作成したインドネシア語を再度日本語に訳したのは筆者リスマ・リスムラティによる。

例文① 「学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた。」

番号	インドネシア語の訳	文数
1	(1) Untuk mengetahui tingkat kesadaran anak sekolah, のため 知る レベル 意識 子 学校 (学生) <u>saya mencoba melakukan penelitian lewat kuisisioner.</u> 私 試す 行う 調査 を通して アンケート 【学生の意識レベルを知るために、アンケート調査を行ってみた。】	7つ (1,3,5,11,14,15)
2	(2) <u>Survei angket ini dibuat</u> untuk mengetahui kesadaran pelajar. 調査 アンケート この 作られた ために 知る 意識 生徒 【このアンケート調査は、学生の意識を知るために作られた。(受身)】	3つ (2,7,10)
3	(4) Saya sudah mencoba melakukan survey kuisisioner 私 過去形あお表す語-した 試す 行う 調査 アンケート untuk mengetahui kesadaran siswa. ために 知る 意識 学生 【学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた。】	4つ (4,6,9,12)
4	(8) Saya <u>melakukan survei angket</u> untuk mengetahui kesadaran siswa. 私 行う 調査 アンケート ために 知る 意識 学生 【学生の意識を知るために、アンケート調査を行った。】	1つ (8)
5	(16) Untuk mengetahui tingkat kesadaran siswa, ために 知る レベル 意識 学生 <u>maka dilakukan pengambilan angket.</u>	1つ (16)

従って 行われた 収集 アンケート 【学生の意識を知るために、アンケート調査が行われた。】 (受身)

上記のデータから、例文①「学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた」をインドネシア語に訳す時、16人中8人が「V テミル」形式である *mencoba* をそのまま用いて訳している。残りの5人は、「V テミル」形式や他の表現を使わずに、「行ってみた」‘*mencoba melakukan/mengadakan*’をそのまま「行った」‘*melakukan* する；行う’や‘*mengadakan* 行う；実行する’という動詞で表した。そして、残りの3人は、受身形の「行われた」「作られた」に相当する‘*dilakukan* 行われた；*dibuat* 作られた’で表した。この三つの翻訳のし方は、いずれも自然な表現として捉えることができるが、「V テミル」形式を用いるかどうかによって話し手が伝えたいニュアンスが違ってくると考えられる。このニュアンスを見ていくと、「V テミル」形式を用いる文章には、「V テミル」の試みるの意味が強く感じられるため、話し手が努力して行うというプラス・ニュアンスを含んでいる。それに対して、「V テミル」形式をもたない文には、話し手があることを既に行ったという結果を強調したいと考えられる。従って、この三つのパターンから、「V テミル」の用法に一番近い表現は「～てみた」の‘*mencoba melakukan/mengadakan*’の方であると考えられる。この分析結果を通して、インドネシア語母語話者の日本語学習者も初級から中級レベルまで、「V テミル」の「試す：目的実現」の使用用法を十分に理解できていると考えられる。

例文② 「アンケート調査を行ってみると、面白い結果が出た。」

番号	インドネシア語の訳	文数
1	(1) <u>Begitu dilakukan</u> kuisisioner, ~すると 行われた アンケート didapati hasil yang menarik. 出された 結果 係助詞の 面白い 【アンケート調査を行うと、面白い結果が出た。】	6つ (1,2,7,8,9,12)
2	(3) <u>Setelah melakukan</u> survei angket, ~てから 行う 調査 結果 saya mendapatkan hasil yang menarik. 私 手に入れた 結果 係助詞-の 面白い 【アンケート調査を行ってから、面白い結果を得た。】	6つ (3,10,11, 13,14,15)
3	(4) <u>Jika melihat</u> pada hasil survey, ~たら 見る 前置詞に 結果 調査 banyak muncul jawaban yang menarik. たくさん 出た 回答 係助詞-の 面白い 【アンケート調査を行ったら、面白い結果がたくさん出た。】	2つ (4, 6)
4	(5) Saya menemukan hal yang menarik 私 見つけた こと 係助詞-の 面白い dari hasil survey angket yang saya bagikan. から 結果 調査 アンケート 係助詞-の 私 配った 【配ったアンケート調査から、面白い結果を見つけた。】	1つ (5)
5	(17) <u>Dari hasil pengambilan</u> angket, から 結果 収集 アンケート didapatkan hasil yang di luar dugaan. 出た 結果 係助詞-の 予想外	1つ (16)

	【アンケート調査から、面白い結果が出た。】	
--	-----------------------	--

上記のデータから、例文②「アンケート調査を行ってみると、面白い結果が出た。」という発見の意味をもつ条件節「と」と組み合わせた「V テミル」をインドネシア語に訳す時、16人中1人が発見の意味を強調する「V テミル」形式と条件節「～たら」の組み合わせを翻訳した表現の‘*begitu mencoba melakukan*’を使用していた。一方、16人中2人は同じく「V テミル」形式をそのまま用いる文が「～てから」と組み合わせた‘*setelah mencoba melakukan*’で表したり、16人中4人は‘*setelah...*’という順序を表す「～てから」と同等な副詞で表された、16人中4人は、‘*saat; ketika*’という起こる時間を強調する「～とき」と同等な名詞で表されたり、16人中2人は、‘*Jika*’という条件節を表すための接続詞で表されたり、16人中2人は、‘*dari*’という「～から」と同等な助詞で表されたり、16人中1人は、‘*begitu (segera setelah)*’というある物事が起きてからすぐの意味を強調する時間を表す副詞で表されたりした。

例文②の翻訳には、条件節の「V テミル」が様々な表現に翻訳されているが、「V テミル」のもつ発見の意味を表すために、なんとまったく違う表現で表している。データを見ていくと、上記の7つの文章区分の中から、発見の意味をもつ「V テミル」に近い表現は、一番自然に使用されるのは、‘*setelah...*’という順序を表す「～てから」と同等な副詞と‘*begitu (segera setelah)*’というある物事が起きてからすぐの意味を強調する副詞だと考えられる。この2つの表現には、「ある物事をしてから、何かを発見する」という意味合いが含んでいるため、インドネシア語の場合は、発見の意味を表す条件節「V テミル」の「V テミルト」形式には、‘*setelah...*’と‘*begitu (segera setelah)*’が相当する。インドネシア語母語話者の初級から中級レベルまでの日本語学習者が翻訳した例文②の分析結果をみると、「V テミル」の「試す：結果前提」の使用用法に関しても十分に理解できていると思われる。

例文③ 「夜が明けてみたら、雪が積もっていた。」

番号	インドネシア語の訳	文数
1	(1) <u>Begitu pagi tiba</u> , salju sudah menumpuk. ～すると 朝 来た 雪 過去形を表す語 積もった 【朝が来ると、雪が積もっていた。】	1つ (1)
2	(2) Salju menumpuk, <u>saat menjelang fajar</u> . 雪 積もった とき 近づいた 朝焼け 【夜が明けたとき、雪が積もっていた。】	13つ (2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,13,14,15)
3	(12) <u>Setelah malam berlalu</u> , salju sudah menumpuk. ～てから 夜 過ぎた 雪 過去形を表す語-した 積もった 【夜が過ぎてから、雪が積もっていた。】	2つ (12,16)

上記のデータでは、例文③「夜が明けてみたら、雪が積もっていた」の、自然現象を慣用表現で表している「V テミタラ」をインドネシア語に訳す時、16文の翻訳には、「V テミタラ」と相当する表現を使わず、「夜が明ける」という時を重視することが捉えているため、インドネシア語では、16人中13人は‘*saat; ketika; di kala*’（～とき）という起こる時点を表す語を用いている。自然現象を表す慣用表現という感覚は持っていないため、「何

かが起きるとき」の時間節を中心し表すのが一般的であると考えられる。従って、この例文③の分析結果から、インドネシア語母語話者の日本語学習者も初級から中級レベルまで、「V テミタラ」のもつ「新発見」の使用用法に関して、慣用のニュアンスの意味も含まれているということが分からなくても、「新発見」を強調するという点だけには、ある程度理解はできていると考えられる。

例文④ 「病気になってみて、健康の大切さが分かった。」（きっかけ）

番号	インドネシア語訳	文数
1	(1) <u>Begitu sudah sakit</u> , baru merasakan pentingnya sehat. とき 過去形を表す語-した 病気 ところ感じた 大切さが 健康 【病気になってからすぐ、健康の大切さが分かった。】	2 (1,7)
2	(2) Pentingnya kesehatan badan akan kita pahami, 大切さが 健康 体 未来形を表す語-する 私たち 分かった <u>saat kita sakit</u> . とき 私たち 病気 【病気のとき、健康の大切さが分かった。】	4つ (2,9,10,12)
3	(3) <u>Setelah saya jatuh sakit</u> , ～てから 私 落ちる 病気：病気になった saya baru mengerti pentingnya kesehatan. 私 ～ようになる 分かる 大切さが 健康 【病気になってから、健康の大切さが分かるようになった。】	6つ (3,11,13,14,15,16)
4	(4) Saya menyadari pentingnya kesehatan <u>ketika saya sakit</u> . 私 気付いた 大切さが 健康 とき 私 病気 【病気になったとき、健康の大切さが分かった。】	3つ (4,6,8)
5	(5) Saya mencoba sakit, kemudian saya mengerti betapa pentingnya kesehatan. 私 試す 病気 そして 私 分かった どれほど 大切さが 健康 【病気になってみて、健康の大切さが分かった。】	1つ (5)

上記のデータから、例文④「病気になってみて、健康の大切さが分かった」というきっかけの意味をもつ「V テミル」をインドネシア語に訳す時、順序を表す‘setelah..., baru...’「～てから、～するようになる」、あるいは起こる時点を強調する‘saat; ketika..., baru...’「～てから、～するようになる」を使用して表すことがより自然に用いられると考えられる。今回半数近い16人中7人が、‘setelah..., baru...’を「～その後」の意味をもつ語‘baru’と組み合わせて使用していた。また、16人中6人は、‘saat; ketika..., baru...’を使用していたので、13名という大部分の人が「きっかけ」の意味としてとらえていたと考えられる。残りの人は‘begitu (segera setelah)’というある物事が起きてからすぐの意味を強調する時間を表す語や、「V テミル」形式と条件節「～たら」と組み合わせた「～てみたら」の‘begitu mencoba melakukan’を使用していた。ただ、最後の‘begitu mencoba melakukan’「病気になってみて」という表現はないため、この翻訳文は参考として扱わないことにした。

例文⑤ 「この本を無くしてみろ！彼に相当怒られるよ。」

番号	インドネシア語の訳	文数
1	(1) Coba saja kamu hilangkan buku ini! 試す あなた 無くす 本 この Katanya yang tiba-tiba memarahiku.	9つ (1,3,4,5,6,11,12,13,14)

	～と言っていた 係助詞の 急に (私を) 怒っていた 【この本を無くしてみろ！彼が急に怒っていった。】	
2	(2) <u>Jangan sampai</u> bukunya hilang, nanti dia marah! だめ まで 本が 無くなる あとで 彼 怒る 【この本を無くしちゃだめだよ！彼が怒るから。】	3つ (2,9,15)
3	(7) <u>Awas saja</u> buku ini hilang! 覚えておけ、本 この 無くなる！ Dia akan sangat murka loh. 彼 未来形を表す語-する とても 怒る よ 【この本を無くすな！彼が怒るよ】	1つ (7)
4	(8) <u>Ketika</u> buku ini hilang! Aku cukup marah padanya. とき 本 この なくなる 私 結構 怒る 彼に 【この本が無くなったとき、彼に相当起こったよ】	1つ (8)
5	(10) <u>Kalau</u> buku ini sampai hilang, ～たら 本 この まで なくなる pasti kamu akan dimarahinya! きっと あなた 未来形を表す語-する 彼に 怒られてしまう 【この本が無くなったら、あなたはきっと彼に怒られるよ】	2つ (10,16)

上記のデータから、例文⑤「この本を無くしてみろ！彼に相当怒られるよ。」という命令形を使用して「もしVしたら～となってしまう」の意味を表す「V テミル」はインドネシア語に訳す時、*jika/ kalau ...,pasti...lho!* (もしVしたら、きっと～よ) が一般的に使われている。しかし、そのように訳した学習者はおらず、肯定命令形の「～してみろ」と同じパターンでの「Coba saja + V」や、否定命令形の「～してはだめ」と同じパターンでの「Jangan sampai + V」、否定命令形の「～してみてもだめ」と同じパターンでの「Jangan coba-coba sampai + V」など命令文と解釈して使用していた。

初級レベルから中級レベルのインドネシア母語話者の日本語学習者にとって、この「V テミル」がもつ「条件用法」に関して、より理解してもらえらるため指導提案が必要になると考えられる。

5.3. インドネシア語母語話者に対する導入の際の留意点

上記のアンケート調査結果を踏まえ、補助動詞「V テミル」が持つ様々な用法の中で、「試行の目的実現」と「試行の結果前提」に関してはインドネシア語では、「V テミル」と相当する「Coba+ V」で表現することができ、インドネシア語母語話者にもこの二つの用法に対する理解は比較的容易である一方、「V テミル」の「新発見」、「きっかけ」と「条件」の用法に関しては、十分に理解されていないということが分かった。インドネシアで使用される『みんなの日本語』や『学ぼう！日本語』などのような日本語教科書の「V テミル」の解説を見ていくと、初級レベルにおいては「試行」の意味しか解説されていなかった。そのため、中級レベルに入ると、「試行」意外の用法をもつ「V テミル」例文に直面した時、多くのインドネシア語母語話者は従来の意味を捉えないで、全体の文章の意味を大雑把に解釈してしまう傾向がある。従って、中級レベルの段階では、「V テミル」のもつ「試行」以外の用法を紹介しなければならないと考えられる。特に、「V テミル」のもつ「新発見」、「きっかけ」と「条件」用法は、インドネシア語では、*setelah* 「～てから」、*begitu* 「～すると」、*saat; ketika* 「～とき」、*jika; kalau* 「～たら」のような全く異なる表現で表すため、この三つの用法を導入する際、各用法に沿ってインドネシア語での同

様の意味や文化背景を説明しながら、それらの適切な例文を提示する必要があると考えられる。具体的にいうと、「V テミル」の「新発見の用法」を指導する際、(saat/ketika という時を表す語の前件+「予想外の発見を示す」後件) という接続がより一般的な構造であるため、そのパターンのように説明すると理解が深まると思われる。そして、「V テミル」の「きっかけの用法」を導入する際、インドネシア語では、「ある物事を経験してから」ということを強調し、前件「V テミル」には、接続詞の(～を経験にし) てから、後件にはこのような結果が起きるような因果関係的な構造の文章を説明すると「きっかけ」の意味が理解しやすいと考えられる。最後に「V テミル」の条件用法を導入する際、(jika「条件を表す副詞」前件+「予想外」後件) という構造で説明すると、「条件」の用法がより伝わりやすくなると思われる。

6. 中国語母語の日本語学習者の補助動詞「V テミル」の理解

前章では、「V テミル」には「試行」以外の意味もあり、インドネシア母語話者の日本語学習者が日本語の補助動詞「V テミル」の「試行」の意味以外についての理解は不十分であるとの結果が出た。本章では参考として、インドネシア母語話者に行ったものと同じ調査を日本語学習者が多い中国語母語話者に行い、日本語の[V テミル]文を訳す時の中国語の「試行」を表す「V 看」とそれ以外についてどの程度理解できているかを示す。これにより、「試行」以外の意味の「V テミル」があまり良く理解されていないことが、インドネシア母語話者だけであるのか、また、そのほかの母語話者についても同じように考えられるのか、また、それぞれについての特徴がわかれば、指導法についても考えやすくなると考えた。

6.1. 中国語母語話母語の日本語学習者のV テミルの使用意識に関する簡易調査

「V テミル」を使った試行の意味、またそれ以外の意味の例文を中国語母語話者に中国語に訳してもらったのが以下の結果である。調査した文は、インドネシア語母語話者の日本語学習者に調査したのと同じ以下の5つの文である。調査対象者は、筆者の友人、または元教え子である来日3年以上の大学生、大学院生、社会人である日本語能力試験N1取得程度の日本語力をもった中国語母語話者13名である。

- ① 学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた。(「試す」目的実現)
- ② アンケート調査を行ってみると、面白い結果が出た。(「試す」結果前提)
- ③ 夜が明けてみたら、雪が積もっていた。(新発見)
- ④ 病気になってみて、健康の大切さがわかった。(きっかけ)
- ⑤ この本をなくしてみろ！彼に相当怒られるよ！(条件)

以下は、各例文を調査対象者番号1から13に中国語に翻訳してもらったものを表にしたものである。調査対象者が訳した中国語は、どのような意味でとらえているかを知るため、中国語調査協力者の大阪大学大学院博士後期課程の劉鑒瑤氏に日本語に訳していただいた。

例文① 「学生の意識を知るために、アンケート調査を行ってみた。」

番号	中国語の訳	日本語の訳
1	?*為了知道學生的想法，進行問卷調查	学生の考えを知るためにアンケート調査を行う
2	我已經嘗試過用問卷調查去了解學生們的想法	私はすでにアンケート調査を用いて学生たちの考えを理解しようとする試みをした
3	為了調查學生的意識，進行了問卷調查	学生の意識を調査するためにアンケート調査を行った
4	為了知道學生的意識，提前做了問卷調查	学生の意識を知るために予めアンケート調査をした
5	為了了解學生的意識，進行了問卷調查	学生の意識を了解するためにアンケート調査を行った
6	為了知道學生們的意識， 試著 進行了問卷調查	学生たちの意識を知るために試しにアンケート調査を行った
7	?為了知道學生的意識， 試著 進行調查	学生の意識を知るために試しに調査を行う
8	為了知道學生的意識， 嘗試 去調查	学生の意識を知るために試しに調査する
9	為了知道學生的意志，進行了問卷調查	学生の意志を知るためにアンケート調査を行った
10	為了知道學生們的意識， 試著 進行了問卷調查	学生たちの意識を知るために試しにアンケート調査を行った
11	為了知道學生的意識， 試著 進行了問卷調查	学生の意識を知るために試しにアンケート調査を行った
12	為了知道學生的意見 試著 做了問卷調查	学生の意見を知るために試しにアンケート調査を行った
13	為了知道學生的意識， 試著 進行了問卷調查	学生の意識を知るために試しにアンケート調査を行った

典型的な「試行」の意味を表す「Vテミル」の用法だが、13名中9名が「試行」の意味を使い、4名はただ行ったという事実の意味で翻訳している。

例文② 「アンケート調査を行ってみると、面白い結果が出た。」

番号	中国語の訳	日本語の訳
1	* 嘗試 去 做 了 問卷調查 會 有 有 趣 的 結 果	試しにアンケート調査を行った 面白い結果がある
2	? 試 過去舉行問卷調查, 就會有意想不到的結果 b 出現	試しにアンケート調査を挙げたことがあったら 意外の結果が出現する
3	進行了問卷調查之後， 出現了有趣的結果	アンケート調査を行った後、面白い結果が出た

4	? 試著 進行問卷調查，結果很有趣	試しにアンケート調査を行う 結果はとても面白い
5	實行了問卷調查之後，得到了有趣的結果	アンケート調査を実行した後、面白い結果を得た
6	進行了問卷調查，得出了有趣的結果	アンケート調査を行った 面白い結果を得た
7	* 試著 進行問卷調查，出來了有趣的結果	試しにアンケート調査を行う 面白い結果が出てきた
8	?* 試著 去調查，有趣的結果就出來了	試しに調査すると面白い結果が出てきた
9	*進行問卷調查，有趣的結果出來了	アンケート調査を行う 面白い結果が出てきた
10	*爲了 試著 進行問卷調查，得到了有趣的結果	試しにアンケート調査をするために面白い結果を得た
11	* 試著 進行了問卷調查，出來有趣的結果	試しにアンケート調査を行った 面白い結果が出てくる
12	做了調查問卷，出現了嚇人的結果	アンケート調査をした 恐ろしい結果が出現した
13	* 試著 進行問卷調查，出來有趣的結果	試しにアンケート調査を行う 面白い結果が出てくる

13名中8名が「Vてみる」を中国語の試行に相当する「**試著**」を使用しているが、「**試著**」を使用していない場合は、「調査を行う」、すると、「結果が出た」という順次動作に焦点を当てていると考えられる。

例文③ 「夜が明けてみたら、雪が積もっていた。」

番号	中国語の訳	日本語の訳
1	黎明 a <u>時</u> 分，雪正在下	黎明時分に雪が降っている
2	天 a <u>若</u> 不破曉，a <u>就</u> 不 b 知雪已盈尺	若し天曉破らざれば、就ち雪已に尺に盈ちたるを知らぬ
3	過了一夜，雪堆積了起來	一晚過ぎた 雪が積もってきた
4	天亮了，b <u>發</u> 現堆了很多雪	夜明けた 雪がたくさん積もっているのを発見した
5	天亮了 a <u>之</u> 後 b <u>一</u> 看，積雪了	夜明けた後見（てみ）ると、雪が積もった
6	天亮 a <u>后</u> b <u>發</u> 現積了很多雪	夜明けた後雪がたくさん積もっているのを発見した
7	天亮 b <u>一</u> 看，積雪了	夜明けて（私が）見て 雪が積もった
8	*天一亮了，b <u>發</u> 現雪積了很多	夜明け（てみ）たら、雪がたくさん積もっているのを発見した
9	天亮 a <u>以</u> 後，b <u>發</u> 現堆積了很多雪	夜明けた後、雪がたくさん積もっているのを発見した

10	天亮了，雪堆積了	夜明けた 雪が積もった
11	天亮了，雪也會積起來	夜明けた 雪も積もってくる
12	天亮的 a 時候， b 發現積雪了	夜明ける時雪が積もっているのを発見した
13	天亮了，雪堆起來了很多	夜明けた 雪がたくさん積もった

「明けてみたら」となると、試行の意味でなく「了」や「以後」で時間経過を表している。ここから「V テミル」という意味が必ず「試行」を表すのではないということが理解できていることがわかる。しかし、「発見」という言葉を使用しているのは 5 名である。また、中国語の詩のように訳している人もいる。

例文④ 「病気になってみて、健康の大切さが分かった。」（きっかけ）

番号	中国語の訳	日本語の訳
1	* 嘗試 去 生病 a 後 才 知道 健康 才 是 最 重要 的	試しに病んだ後まさに（病んではじめて）健康が最も重要だと知った
2	得過病的人 a 才會 b 發現原來健康才是最重要的	病気に罹ったことのある人こそ健康こそ最も重要だと気付く
3	生了病 a 才知道健康的可貴	病んではじめて健康の貴重さを知る
4	生病了 a 之後， a 才懂得健康的重要性	病んだ後まさに（病んではじめて）健康の重要性がわかる
5	a 只有生病了， a 才明白健康的重要性	病んだからこそ健康の重要性が分かる
6	一生病， a 才知道健康的重要	病んでみるとまさに（病んでみてはじめて）健康の重要さを知る
7	生了病， a 才知道健康的重要性	病んだからこそ健康の重要性を知る
8	*a 因為 試著 生病了， a 就知道了健康的重要性	試しに病んだため すると健康の重要性を知った
9	生病 a 之後， 明白了健康的重要	病んだ後、健康の重要さが分かった
10	生病 a 之後， 明白了健康的重要	病んだ後、健康の重要さが分かった
11	生病了 a 才知道健康的重要性	病んではじめて健康の重要性を知る
12	a 因為得了病， 知道了健康的重要	病んだから健康の重要性を知った
13	生病的 a 時候才知道健康的重要	病む時にこそ健康の重要さを知る

ここでも、「試著」を使用したのは 1 名のみである。中国語では「病気に罹る／病む」のような動詞（句）は「試行」のような主体意志が必要とされる表現と共起しにくい。したがってこの文に対して、「V テミル」を「試行」の意味でとらえている人でも「試行」

にあたる語で訳すことは少ないと考えられる。「病気」と「健康の重要性を知る」という前後の要素から、慣習としてこのような関係が連想されると思われる。そしてこのような論理的関係を表すものがあれば文の意味やニュアンスが十分伝わるとと思われる。

例文⑤ 「この本を無くしてみろ！彼に相当怒られるよ。」

番号	中国語の訳	日本語の訳
1	這本書丟了 a 的話, 他 a 會 相當 生氣	この本がなくなったら彼は相当怒る
2	a 如果這本書遺失 a 的話, 他真的會火冒三丈	もしこの本が遺失になったら彼は本当に怒る
3	你把這本書丟失試試！他會很生氣的。	(きみが) この本を無くしてみろ！彼はとても怒るのだ。
4	a 如果這本書丟了, a 會被他罵	もしこの本がなくなったら彼に怒られる
5	把這本書弄丟試試！會讓他很生氣的！	この本を無くしてみろ！彼をととても怒らせるのだよ！
6	?試試把書弄丟！會被他罵！	本を無くしてみろ！彼に怒られる！
7	a 如果你把這本書弄丟, 他會相當生氣的	もしきみがこの本をなくしたら、彼が相当怒る
8	*b 發現這個書丟了！他非常生氣！	この本がなくなったのに気づいた！彼は非常に怒っている！
9	這個本沒了！他相當生氣！	この本はなくなった！彼は相当怒っている！
10	這本書丟了, 他被責背 _マ (備) 了	この本はなくなった。彼は怒られた (受身)
11	這個本沒了！他會被罵！	この本はなくなった。彼は怒られる！ (受身)
12	這個書丟了, 他相當生氣	この本はなくなった。彼は相当怒っている
13	這個本丟了, 他被責備了	この本はなくなった。彼は怒られた (受身)

この⑤の文の「V テミル」は命令形で現れているが、もしこの行為を起こしたら望ましくない結果が出るのでそうしないでほしいという意味合いである。このように訳をしているのは4名である。

6.2. 中国語の結果から

中国語母語話者の日本語学習者も「V テミル」は「試行」の意味以外にあるということ意識して理解できている人は多くないと感じた。ただ、今回の調査対象者の中国語母語話者の日本語学習者は全員日本語レベルが上級以上であることと、日本語を日常的に使用していることから、慣習的に、また、文法的理解よりも、出現している単語を結び付け推測で文を作っているとも考えられる。インドネシア母語話者の日本語学習者に比べて、それらの能力がこの調査対象者が高いと考えられるので、一概に中国語母語話者の方が「V テミル」の「試行」以外の意味を理解しているとは言えない。

しかし、このようなレベルの日本語学習者でも、「試行」以外の意味の「V テミル」を理解しきれていないという事がわかったことは大きい。

7. 調査結果からの考察

以上のインドネシア母語話者による調査により、以下のようなことが明らかになった。

- 1 例文①、②の「試行」の意味の「V テミル」に関しては、おおむね日本語の意味を捉えている。
- 2 例文③の時間の経過については、「V テミル」という補助動詞に影響されないで、訳がなされている。
- 3 例文④、⑤に関しては、インドネシア母語の日本語学習者は「きっかけ」の意味で訳しているものはほとんどいなかった。比較として中国語母語の日本語学習者の調査では「きっかけ」としてとらえている者もいた。しかし、これは中国語母語の日本語学習者が「きっかけ」の意味の「V テミル」を知っているわけではなく、慣用的に単語を繋げていけばそのような訳になることが自然であったからではないだろうか。それを明らかにする再調査を行う必要があると思われる。
- 4 例文⑤について、インドネシア語母語話者の日本語学習者の場合は、「命令文」の意味としてとらえているものが多いことが分かった。つまり、仮定の意味としての「V テミル」をほとんどの人が理解していないという事である。

8. まとめ

日本語母語話者が何気なく使用している「V テミル」という補助動詞であるが、その意味は多義にわたり、代表的な「試行」の意味以外で使用されることも多い。この調査によって、「試行」以外の意味で使われている場合、インドネシア母語の日本語学習者がそれを理解しているとは言えない場合も多いことがわかった。

まずは中級後半レベルで、ある程度言葉の裏に心情が隠れていることの多い日本語の特徴を理解した学習者に、「試行」以外の意味があることを理解させ、学習させるのが適当だと思われる。特に「きっかけ」や「仮定」の意味は、日本語を使いこなしているはずの上級レベル以上の日本語学習者でも「試行」の意味でとらえたり、「V テミル」に触れずに文を作っているという調査結果が出た。そこで、「V テミル」を使った場合、使わない場合を対比させるなどして「試行」以外の意味の存在を学習者にはっきりと気付かせ、十分理解をさせることが重要だと思われる。そのためには、初級の段階で、「試行」以外の意味があることにも触れることも必要ではないかとも思われる。しかし、その場合、初級段階で「試行」の意味以外のどの意味を導入しておくことが、他にもいくつかあることを示唆することができるかという事や、導入することによる混乱を防ぐためにはどのような方法が効果的なのかをしっかりと考えたいと進めなければならない。

また、「きっかけ」や「仮定」の意味が取れているかについて、インドネシア語母語の日本語学習者と、参考に行った中国語母語の日本語学習者との差が出ていたが、これは理解の有無ではなく、出現している言葉を繋げたとき中国語母語話者の方が、「きっかけ」の意味を入れたほうがしっくりくると考えたからだとする、母語によってこれらの導入の仕方も工夫していかなければならないと思う。

また、参考で調査した上級レベル以上の中国人母語話者の「試行」の意味以外の「V テミル」の中国語への翻訳を見てみると、理解しているかどうかはこの調査では不明であるが、日本語母語話者が示したい意味で翻訳ができていた人もいた。このことは、日常で日本語を使用している人は、文脈や出現している単語で意味を捉えることができているのではないかと仮定することができる。この仮定に関しては、今後の調査によって明らかにすることで、日本語学習者に、「文脈や与えられた単語などから意味を見つけ出せることができるスキル」を身につけさせる方法も考えられるのではないかと期待できる。

参考文献

- 金谷由美子(2018)「気づきにくい学習者/母語話者間のミスコミュニケーション」『日本語・日本文化研究』pp. 157-176
- 胡英華(2019)「“V. V. 看”與“V. てみる”虚化——嘗試態助詞」『文化創新比較研究』(13)
- 吳福祥(1995)「嘗試態助詞‘看’的歷史考察」『語言研究』(2)(29) pp. 161-166.
- 嶋田紀之(2009)「「V テミル」の多義性と文法化」『日本認知言語学会論文集 9』pp. 132-142
- 成知炫(2012)「現代日本語の補助動詞：「しテミル」と「してみせる」の意味・用法の記述的研究」『東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士論文 第2章』pp23—126
- 高橋美奈子(2019)「タリ節における「～テミル」をめぐる」『現代日本語研究 11』pp1-20
- 田中聡子(1996)「動詞『みる』の多義構造」『言語研究』(110) pp. 120-142.
- 趙元任(1979)『漢語口語語法』商務印書館
- 湯敬安, 石毓智(2021)「現代漢語的嘗試構式」『外國語』(44-3)pp. 21-30.
- 中谷健太郎(2015)「テ形複雑述語の多義性をどうとらえるべきか：文法化アプローチと拡大的合成アプローチ」『甲南大學紀要 文学編』(165)pp. 99-112.
- 三宅知宏(2005)「現代日本語における文法化——内容語と機能語の連続性をめぐって一」『日本語の研究』1-3 pp. 61-76.
- 森英樹(2014)「「V てみろ」条件命令文のモダリティと再分析構造」『言語研究 145』pp1-26
- 吉川武時(1975)「『～てみる』の意味とその実現する条件」『日本語学校論集』(2) pp. 36-51.
- 陸儉明(1959)「現代漢語中の一箇新的語助詞“看”」『中國語文』(10) pp. 490-502.

参考教材

- 白川博之(監修)・庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 鶴尾能子・石沢弘子(監修)(1998)『みんなの日本語初級Ⅱ』スリーエーネットワーク
- 松岡弘(監修)・庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 原真由子(2020)『世界シリーズ14：インドネシア語』大阪大学出版会
- 日本語教育教材開発委員会(2005)『学ぼう！日本語初級1』専門教育出版

- 3A Corporation. 2018. *Minna No Nihongo II Edisi-2: Kosakata dan Tata Bahasa Terjemahan Bahasa Indonesia versi Bahasa Indonesia* (みんなの日本語初級 II 第 2 版—翻訳・文法解説インドネシア語版) . IMC Center
- 3A Corporation. 2018. *Minna No Nihongo II Edisi-2 Buku Utama* (みんなの日本語初級 II 第 2 版本冊) . IMC Center
- Thjin Thian Shiang. 2003. *Kiat Sukses Mudah dan praktis Mencapai N4:Edisi Baru* (日本語能力検定試験 N4 対策) . Gakushudo

謝辞

この論文を執筆するにあたり、中国語の「試行」についての知識と、調査結果を提供くださった劉鑿瑤氏に感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございました。